

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県大磯警察署協議会
日時	令和5年10月31日(火) 午後2時30分から午後4時30分までの間
場所	神奈川県大磯警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 杉崎 實、加藤 勝義、芦川 博昭、西山 哲也、萩原 峰子、美濃島 規子、山田 和信 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 佐藤 真、副署長 三上 佳巳、調査官 小林 泰二 会計課長 岩田 洋子、生活安全課長 後藤 利雄、地域課長 入江 幸之助 刑事課刑事総務係員、交通課長 野田 繁夫、警備課長 矢部 雄一 計9人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>前回諮問「還付金詐欺の被害防止方策について」</p> <p>1 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防犯講話に体験コーナーを設ける。 ・ ATMへのステッカー貼付等見える注意喚起の実施。 ・ 子ども世代への防犯講話を行うなど家族ぐるみの対策が必要。 ・ 具体的な話題を用いて、巡回連絡時に積極的な防犯指導を行う。 ・ 実施した対策や被害状況等を分析し、繰り返し対策を行う。 <p>2 措置結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ等での防犯講話において、受講者に還付金詐欺の騙しの電話を実際に受けてもらうなど体験型の講習を実施した。 ・ コンビニのATM付近で利用者の目に付くところに注意喚起のチラシ貼付を実施した。 ・ 管内に所在する学校の教職員へ還付金詐欺に関する情報提供を行い、授業等で生徒への教示を依頼した。 学校での防犯講話で、生徒に対し特殊詐欺の手口を説明し家族との会話の中で話題に上げてほしいなどの依頼を含めた講話を行った。 ・ 様々な特殊詐欺阻止のチラシを活用し、特殊詐欺の被害防止を呼び掛けた。 ・ 前兆電話が掛かって来た高齢者に対し、迷惑電話防止機器を貸出すとともに設置作業も実施した。 ・ 特殊詐欺の被害を阻止していただいた方へ警察署長からの感謝状の贈呈を行うとともに、更なる協力を依頼した。 ・ 当署来庁者に対し、闇バイトの抑止を呼び掛けた。
	諮問
	若手警察官の育成について
	答申
	<p>1 目標を達成するには、どうすれば良いか若い人に問いかけて導く。</p> <p>2 目標を管理して、明確にするために、気軽に相談出来る機会を設ける。</p> <p>3 定期的に、目標・業務内容の理解を深め、職場内相互のコミュニケーション能力を高める。</p>
	業務説明
前四半期（7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（10月から12月まで）の業務推進	

重点について説明を行った。